

ハマボウ(アオイ科)

Hibiscus hamabo Sieb. et Zucc.

兵庫県：Aランク

環境省：-

種の概要

落葉低木または小高木。高さ1-2mに達する場合もある。小枝、葉の裏面、托葉の外面、苞、萼などに黄色をおびた灰色の星状毛を密生する。葉は長さ1-2cmの柄があり、葉身は厚く、ふつう円形～広卵形、先は鋭形、基部は円形またはやや心形、長さ4-7cm、幅3-6cmで、縁には鈍い細かな鋸歯があり、表面は星状毛が散生し、裏面は灰色の星状毛が密生して、灰白色となる。托葉は三角状卵形、長さ1cmほどで、早落性。花期は7-8月。花は枝の上部の葉腋に単生する。花柄は長さ0.5-1cmで、単毛と星状毛が密生する。副萼片は長さ1cm内外で、下半分は合着し、狭披針形で先はとがる。萼は長さ1.8-2.1cmで、下半分は合着し、裂片は三角状披針形、先は鋭形。花冠は径約5cm、黄色で、内面の基部は暗赤色となる。花弁は倒卵形、先は円形、長さ4-5cm。

国内分布

本州（関東以西）、四国、九州

県内分布

西播、淡路

選定理由

人為性		特殊性		学術性		
生育環境破壊	観賞用等採取	特殊生育環境	特異な生態	特殊な分布	分布の限界	希少
		○				○



特記事項

県内では5ヶ所に知られている。洲本市ではみごとな群落をつくっているが、他では個体数が極めて少ない。

保護上の留意点

自生地を保全するとともに、海浜環境の保全が重要。